

平成29年度 第2回 ほたる多職種研修会

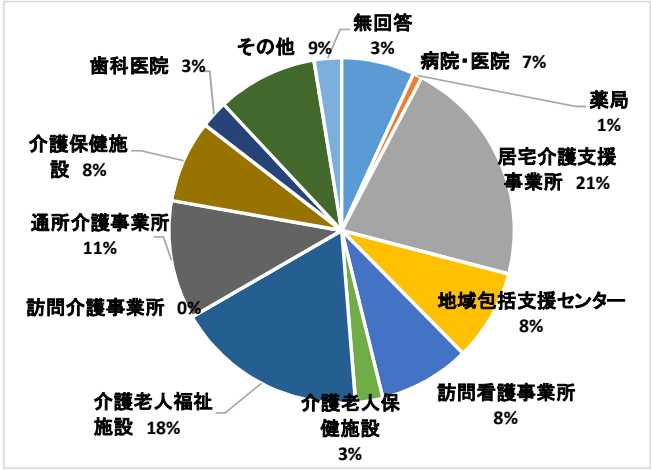
平成30年3月8日(金) 18:30～20:00

テーマ「急変時対応と基礎知識」～実践で役立つ知識・情報～

参加者:128名 アンケート協力者:117名 回収率:91.4%

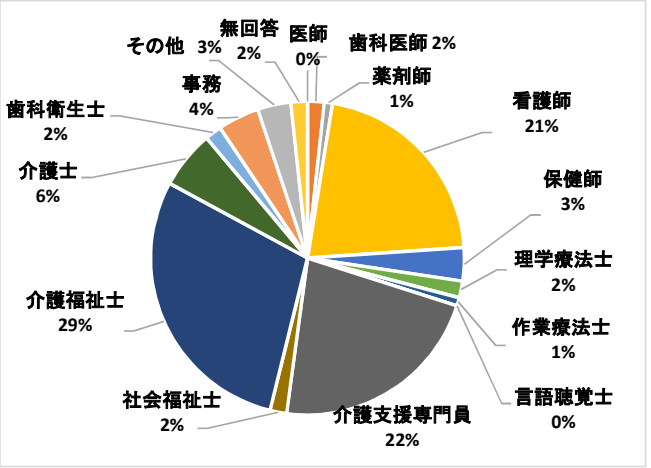
所属

病院・医院	8
薬局	1
居宅介護支援事業所	25
地域包括支援センター	10
訪問看護事業所	10
介護老人保健施設	3
介護老人福祉施設	21
訪問介護事業所	0
通所介護事業所	13
介護保健施設	9
歯科医院	3
その他	11
無回答	3
合計	117



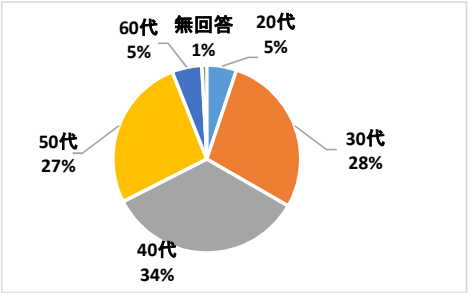
職種 (複数回答)

医師	0
歯科医師	2
薬剤師	1
看護師	25
保健師	4
理学療法士	2
作業療法士	1
言語聴覚士	0
介護支援専門員	26
社会福祉士	2
介護福祉士	34
介護士	7
歯科衛生士	2
事務	5
その他	4
無回答	2
合計	117



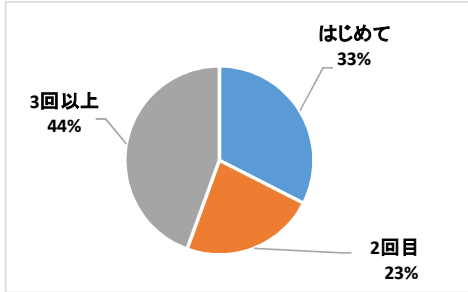
年代

20代	6
30代	33
40代	40
50代	31
60代	6
無回答	1
合計	117



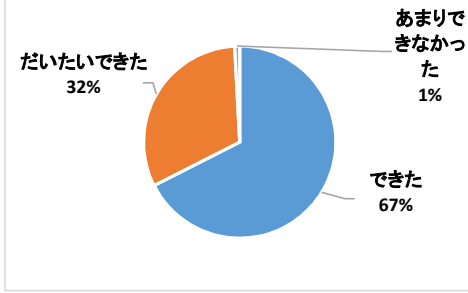
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	38
2回目	27
3回以上	52
合計	117



I. 研修会の内容は理解できましたか。

できた	79
だいたいできた	37
あまりできなかった	1
できなかった	0
合計	117

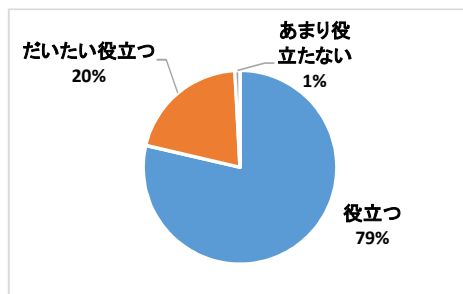


その理由

- ・ 具体的で分かりやすい内容であった。×8
- ・ 具体的な方法や判断基準をわかりやすく説明して頂けた。×2
- ・ わかりやすく、実生活でも活用できるような内容で良かった。
- ・ ABCDの見方を理解することができた。
- ・ 初期対応のいろはを学ぶ事ができた。
- ・ 具体的な観察のポイント、救急車を呼ぶ際の例を学ぶ事ができた。
- ・ 事業所で出来る急変対応の基本がわかった。
- ・ 普段現場でも実際に対応しているため。
- ・ 難しい内容だったが、講師の説明が分かりやすかった。
- ・ 専門用語で分からない所はなんとなくで聴いていた。
- ・ 分からない専門用語がいくつかあった。

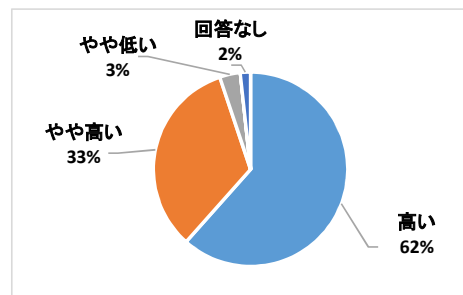
Ⅱ. 研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか。

役立つ	92
だいたい役立つ	24
あまり役立たない	1
役立たない	0
合計	117



Ⅲ. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	72
やや高い	39
やや低い	4
低い	0
回答なし	2
合計	117

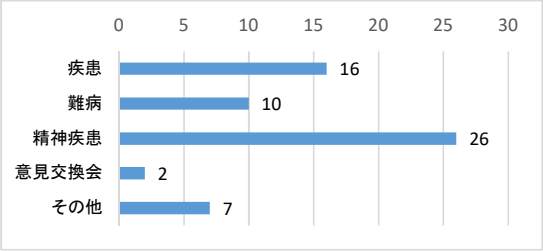


その理由

- ・ すぐに役立つことをわかりやすく説明してくれたので満足度は高い。
- ・ 詳しい内容だった。今後に活かしていきたい。×3
- ・ 具体的で分かりやすかった。×3
- ・ とてもわかりやすく、ABCD評価が理解できた。×2
- ・ 「ABCDアプローチ」という対応を知ることができて良かった。すぐに使えると思った。
- ・ わかりやすかった。専門用語もわかりやすく説明いただいた。
- ・ 救急受診基準例がわかりやすかった。
- ・ 実際に直面した、するであろう事例に対してこころの準備ができた。
- ・ 現場ですぐに活かせる内容だった。
- ・ 救急センターの求めていることも理解できた。
- ・ 基礎知識が理解できたことや施設の現状を聞けて有意義だった。
- ・ 客観的判断が出来そうだ。まずは、すぐにすることが解かった。
- ・ 頭では分かっていると思っているようでも、実際となるとあたふたしてしまう。
- ・ 質問させてもらったことにとっても具体的な回答をいただくことができた。
- ・ 家族にも前もって説明できれば冷静に対応出来ることが分かった。
- ・ 福祉職にも充分理解することができた。
- ・ 実際救急現場で働いている看護師の話を聞いたことで満足。
- ・ 看護師向けの急変対応を聞いてみたい。
- ・ 自分の判断への自信が持てるようになればいいのですが…。
- ・ 新しめの事業所で内部研修や対応マニュアルのない中での自分の知識不足を感じた。
- ・ 実際の対応事例をもっと聞きたかった。ABCD評価した後の対応処置が聞きたかった。

IV. 今後取り上げてほしいテーマについて。(複数回答可)

疾患	16
難病	10
精神疾患	26
意見交換会	2
その他	7



各項目の内容として

◆疾患

- ・糖尿病×3
- ・脳疾患×2
- ・高血圧
- ・皮膚疾患
- ・筋ジストロフィー
- ・肺の疾患
- ・心不全
- ・骨折
- ・感染症

◆難病

- ・ALS×2
- ・終末期につながる疾病
- ・ALSの家庭看護について
- ・パーキンソン病
- ・間質性肺炎
- ・難病のリハビリテーション

◆精神疾患

- ・統合失調症×3
- ・うつ病×3
- ・認知症×4
- ・てんかん×2

◆意見交換会(回答者の所属)

- ・多機能事業所介護士(小規模多機能)
- ・各病院病棟看護師・地域医療連携室と
(居宅介護支援事業所)

◆その他

- ・腎疾患(CKD) 透析を拒否する人への対応に悩んでいます。しないまま進んでいくときの対応
- ・被害妄想や妄想のある人への対応
- ・認知症と生活習慣病との関係
- ・骨折や熱中症の応急処置
- ・看取り介護中の異常サイン、呼吸の仕方など。

V. その他、研修内容に関する意見や感想

- 急性期から亜急性期、回復期、在宅とさまざまなステージがありますが、一つの病棟にずっといると、患者様がどう変化していくのか分からないまま次々に対応していくことになります。これを埋められるような研修をしてほしい。ムズカシイのですが…。
- とても勉強になりました。予測出来ないことがあると1つの判断で大きく変わるので、このような研修があるととても助かります。ありがとうございました。
- 貴重な体験ありがとうございます。すぐにでも現場で使える知識、対応方法とてもためになりました。
- とてもわかりやすく説明してくれたので良かったです。
- 看護師だけでなく介護員等も対応できる内容だったと思う。
- 年度2回でなく、もっと企画してほしい。毎回参加したいです。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。×2
- 貴重な話をありがとうございました。急変がないことが望ましいのですが、その場に居合わせた時には、対応ができるよう心構えを忘れずにいたいと思いました。
- 病院側が欲しい情報を知ることができ、連絡するときの1つの目安になったので良かった。
- ABCDの評価が普段からできるよう身につけていきたいと思う。
- 今回お聞きしたことを同僚のケアマネに伝えたいと思います。
- ボリューム感がちょうど良かったです。難しすぎず実践的なものにしていただきたいと思います。
- 職場で伝達研修をし、理解を深めたいと思いました。
- 多職種だと専門的に聞きたい部分の情報が少なく、今回は特に施設よりかなと。もっと多くの急変対応事例を聞きたかった。心疾患、脳梗塞、腹痛etc、具体的にあれば。
- 研修会の開催は勉強するきっかけを与えてくれるので助かっています。
- 多職種の方々が集まり、自分の位置がわかり、改めて仕事への意欲がわいた。
- 確認のポイント、ABCDアプローチ、とてもためになりました。ありがとうございました。
- 今回は有意義な時間を過ごすことができました。普段不安に思っていることを学ぶことができ満足しました。ありがとうございました。
- 当施設では年1回、消防官指導のもとで、救命救急(AED講習)を学んでいるが、本当にできるのかどうか不安だったのでまた勉強したい。
- 急変時に冷静になれず、どうしたらいいかパニックになることもあります。ふだんからABCDやイメージトレーニングが必要だなと思いました。職場で生かしていきたいと思います。
- ふだんからイメージトレーニングして、何かあった時に冷静に対応できるようにしたいと思いました。
- とてもわかりやすい講義でした。今後に生かしたいと思います。ありがとうございました。
- 「病院側からの欲しい情報」「これだけお願い」訪問看護で緊急対応しています。独居、認知、老老の方が増えています。急変時に短時間で正しい情報が伝えられるように連絡シートを作っていきたいと思いました。
- 急変対応しなければならぬ時、冷静になれず何をして良いか分からなくなってしまうけれど、ABCDアプローチを診て評価することが大切なんだと知ることができて良かった。